

科目区分：情報処理科目

授業科目名	情報処理入門					学期	曜日	校時
英語名	Introduction to Computer Sciences							
担当 教官名	中村 剛 高尾 雄二 高辻 俊宏	単位数	2単位	必修 選択	必修	前期 前期	金曜日 金曜日	校時 校時
授業のねらい・内容・方法								
<p>コンピュータ技術の普及は、情報収集、情報分析、情報発信、意志決定、予測、評価といった科学的活動、業務改善や経済戦略の構築といったビジネス活動、国境を越えた社会活動や国際貢献、趣味や生活の充実などに資するところ著しい。コンピュータ利用技術は現代社会における必修教養知識といえる。本講義はわずか30時間ゆえ、初心者を対象とした入門の域をでない。学習したことがらを基礎として、自主的に技術の習得に努める必要がある。</p> <p>本講義の目標：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コンピュータ初心者に必要な入門的知識と基本的操作法及びその背景となる基礎理論の習得。 2. 環境科学を含む広範囲な学問分野の基礎となる統計科学の論理の理解と統計ソフトの利用入門。 								
テキスト、教材等								
資料等を必要に応じて配布する（一部有料）。Windows用にフォーマット済みの3.5インチ2HDフロッピーディスク数枚と640MバイトMOドライブを各自用意しておくこと。								
対象学生	成績評価の方法				教官研究室			
金 : K26 金 : K25	出席と課題提出で評価する。							
授業計画								
<p>3人の教官が分担して、以下の授業を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ファイル操作 初心者が特にとまどうファイルの操作法（ファイルのコピー、移動、消去、フォルダの作成方法など）。 2. 電子メール フロッピーディスクなどで運用できるメールソフトを利用して、コンピュータがあればどこでも電子メールが利用できるようになる。タイピングに慣れる。 3. インターネット ソフトウェアのダウンロード、解凍、実行を通じて、コンピュータ利用の便利さ、楽しさ、可能性を知る。 4. 基礎的事項 2進級、セキュリティーシステムの理論。 5. 統計科学の論理と利用 EXCELによる統計グラフ作成 確率、統計グラフ、平均、標準偏差、相関回帰、分割表等の理論。 EXCELの機能を用いた具体的なデータ解析。 6. Microsoft Word の利用 コンピュータの利用の基礎である、文書作成の技術。 7. Microsoft PowerPoint の利用 スライドショー等の効果的プレゼンテーション技法。 								